

2023年度 第2回 理事会 抄録

日時： 2023年5月14日（日） 9:30～16:00
場所： ハイブリッド開催
出席： 理事： 齊藤、内山、大工谷
湯元、清宮、佐々木、白石、森本、網本、板倉、小川、大淵、梶村、
黒澤、高橋（仁）、谷口、友清、西山、藤澤、松井
監事： 太田、櫻田、辺士名
欠席者 理事： 吉井、高橋（哲）、田中
監事： なし

I. 審議事項

(全8題)

1. 2022年度事業報告および決算報告の承認について (齊藤会長、内山副会長、大工谷常務理事、吉井副会長、湯元専務理事、佐々木常務理事、白石常務理事、森本常務理事、清宮常務理事)	承認
定款第37条にもとづき、定時総会へ提出するため、2022年度事業報告案および決算報告案が審議され、承認された。	
事業報告および決算報告の詳細は、会員限定コンテンツ>役員会抄録等に掲載の議案書参照。	
<ul style="list-style-type: none">事業報告および決算報告については、2023年5月13日、監事による監査を受けている。総会議案書は別紙のとおりであり、提案趣旨を逸脱しない範囲で、文言の修正は事務局に一任いただきたい。	
定款 第37条（事業報告及び決算） この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。 (1) 事業報告 (2) 事業報告の附属明細書 (3) 貸借対照表 (4) 損益計算書（正味財産増減計算書） (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書 (6) 財産目録	
2. 次期議事運営委員の推薦について (齊藤会長)	承認
総会議事運営規程第3条の定めるところにより、次期定時総会にて議事運営委員の立候補がなかった場合（定足数を満たさない場合）に備え、以下の者を次期議事運営委員として推薦（推薦の順位含む）することについて審議され、承認された。	

議事運営委員候補者 敬称略

1. 柿澤雅史（北海道）
2. 平岩康之（滋賀県）
3. 鷲 春夫（徳島県）
4. 中田洋輔（宮崎県）
5. 國安勝司（岡山県）

会長指名

- ・小林圭介（事務局職員）

任期 第52回定時総会終了時から第53回定時総会終了時まで

3. 第52回定時総会 議長団の推薦について

（斉藤会長）

承認

定款第15条および第18条第2項、総会議事運営規程第5条の定めるところにより、議長・副議長の立候補がなかった場合に備え、以下の者を推薦することが審議され、承認された。

議長：麻田博之氏（京都府）

副議長：三谷管雄氏（鳥取県）

※なお、以下の者は議長、副議長の指名による

議事録署名人：佐藤義文氏（北海道）、北里堅二氏（熊本県）

書記：村松拓也（事務局職員）、吉岡毅（事務局職員）

4. 役員報酬等委員の推薦について

（斉藤会長）

承認

規程第5条第3項に定めるところにより、以下の者を委員として、第50回定時総会に推薦することが審議され、承認された。

委員候補：林 克郎（神奈川）

菊池和幸（静岡）

熊崎大輔（大阪）

山口雅子（広島）

角田大祐（社労士または公認会計士など実務に精通した者）

任期：選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時まで

5. 懲戒委員会委員の推薦について	(斉藤会長)	承認
<p>2023年度第1回理事会(2023年4月8日)にて立候補者が8名だったことを報告したが、今般、定数欠員分について、各都道府県理学療法士会に支援を仰ぎつつ、本会理事会から推薦する候補者を35名選出した。規程第4条第2項及び附則に定めるところにより、第52回定時総会に推薦する懲戒委員会委員について審議がなされ、総員賛成で承認された。</p> <p>任 期： 選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時総会の終結の時まで</p>		

6. 監事候補者の推薦について	(斉藤会長)	承認
<p>定款細則Ⅲ 理事及び監事に関する項4に従い、会計に精通した監事の推薦について、理事会の承認を得て総会に推薦することが審議され、承認された。</p> <p>会計制度に精通した監事候補者：辺土名 厚 氏</p>		

7. 常勤役員上限数の決定について	(斉藤会長)	承認
<p>「常勤役員及び本会事務局にて定期的執務を要する非常勤役員の決定手順要項」に基づき、2023年6月以降の新執行体制において、予算等を鑑み常勤役員上限数を「4名以下」または「5名以下」と決定することについて審議がなされ、「4名以下」に賛成が10名、「5名以下」に賛成が8名となった。過半数に達したため、「4名以下」で募集をかけることで承認された。</p> <p><公募のスケジュール概要> スケジュールは、5月14日 公募内容決定 5月14日～22日 応募期間(消印有効) 5月23日～6月4日の間に常勤役員要件審査委員会開催 6月11日 理事会で決定</p>		

8. 謝金の支払い基準に関する規程の修正案について	(湯元専務理事)	承認
<p>謝金の支払い基準に関する規程の修正案について審議がなされ、総員賛成で承認された。</p> <p><既存の内容を変更した項目> ・「eラーニング」を「講演・講義(オンデマンド配信)」に変更 ・上記に伴い、「講演・講義」を「講演・講義(当日のみ)」に変更 ・「試験問題作問」を「問題作成」に変更</p> <p><新規に追加した項目> ・「専門理学療法士口頭試問」の新規追加</p> <p><削除した項目・内容></p>		

- ・「原稿執筆」「監修」「意見書・報告書」における、今後使用予定がない具体的項目を削除
- ・「報酬」と「給与」の区別を削除

9. 新入会員の承認について (齊藤会長、内山副会長、大工谷副会長、吉井副会長)	承認
2023年3月2日～2023年4月1日の間、新たに申請をした正会員48名の入会について承認された。また、復会者370名、休会者645名、退会者250名であったことが併せて報告された。	

II. 報告事項

(全 18 題)

1. 2022 年度実施 協会選挙 結果報告	(高橋 茂選挙管理委員長)
2022 年度実施 協会選挙 結果報告について、報告がなされた。 ＜役員候補者選挙＞ 理事立候補者においては立候補者が定数を超えたため、投票が行われ、当選者が決定した。 投票率：95.6% 監事候補者においては、立候補者が定数だったため、実施要綱に則り、該当の立候補者を当選者と決定した。 ＜会長候補者選挙＞ 会長候補者においては、立候補者が定数を超えたため、投票が行われ、当選者が決定した。 投票率：98.0%	
2. 役員報酬等規程の変更案について	(信太 雅洋役員報酬等委員会委員長)
役員報酬等規程の変更案について報告がなされた。 ＜規程変更内容（総会提出）＞ ●第 4 条（役員報酬等の額） ・別表における理事（非常勤）の報酬額について、2022 年度第 51 回定時総会で 2.5 万円とすることが承認されたが、従来の 7 万円に戻す。 ＜理事（非常勤）報酬額の再変更（2.5 万円から 7 万円）の理由＞ ① 昨年度、当委員会で検討した理事（非常勤）報酬額の変更（7 万円から 2.5 万円）は、役員報酬額に係る総会の諮問を受けて、他団体との均衡を考慮して検討したものだったが、その前提には、法人会員の追加に伴い一般理事数が大幅に増加する想定があった。 ② 理事（非常勤）の報酬額の変更（7 万円から 2.5 万円）は第 51 回定時総会で承認されたが、当該定時総会では法人会員の追加が否決されたため、理事（非常勤）報酬額変更の前提は崩れていた。 理事（非常勤）の報酬額の変更（7 万円から 2.5 万円）は、改めて役員報酬制度全体の検討の中で適切な理事（非常勤）報酬額を検討すべく、暫定的な措置として、変更前の 7 万円に戻すことが望ましいと考える。	
3 2022 年度期末監査報告について	(太田監事、櫻田監事、辺士名監事)
2023 年 5 月 13 日に 2022 年度期末監査を行い、事業報告、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について適正であると認められたことが報告された。	
4.第 52 回定時総会の議題追加について	(斉藤会長)
第 52 回定時総会の議題追加について報告がなされた。 【追加議題】「役員報酬等の額に係る役員報酬等規程改正案の承認を求める件」	

付帯条件(*)

理事（非常勤）の報酬額変更について、役員報酬等委員会での審議結果を踏まえた上で、総会へ議題提出すること。

5. 第52回定時総会の進行および提案・答弁について

(斉藤会長)

第52回定時総会の進行および提案・答弁について報告された。

6. 本会の令和6年度報酬改定要望項目（案）について

(佐々木常務理事)

本会の令和6年度報酬改定要望項目（案）について報告がなされた。

【要望項目】

- 最終的な要望案の項目数は、診療報酬27項目、介護報酬18項目、障害福祉サービス等報酬8項目となった。
- この要望案をもって、リハビリテーション専門職団体協議会として、3月28日（火）に診療報酬要望案について保険局医療課担当官との意見交換、4月7日（金）に介護報酬要望案について老人保健課との意見交換をおこなった。
- また5月中に、障害福祉サービス等報酬について社会・援護局障害福祉課担当官および子ども家庭庁担当官との意見交換を行う予定としている。
- 今後は、リハビリテーション専門職団体協議会および全国リハビリテーション医療関連団体協議会、担当省庁、関連団体、関連学会等との調整を重ね、要望書提出まで適宜修正を加えていく予定としている。

7. 第14回訪問リハビリテーションフォーラムの開催について

(佐々木常務理事)

令和6年度トリプル改定を見据え、令和5年4月16日にリハビリテーション専門職団体協議会および日本介護支援専門員協会主催で第14回訪問リハビリテーションフォーラムを開催されたことを報告された。

・参加申し込み者数 2136名 当日参加者数（最大）1650名

【2136名の内訳】

医師 4名、看護師 6名

理学療法士 1,416名、作業療法士 375名、言語聴覚士 146名

ケアマネジャー 181名、その他 8名

8. 「2022 職場における腰痛予防宣言！」の事業報告について

(佐々木常務理事)

2022年9月1日から2023年3月末にかけて、厚生労働省の後援のもと、全国の医療・介護現場を対象に、本会会員が自身の所属する施設において理学療法士による腰痛予防に取り組む啓発事業として実施された、「2022 職場における腰痛予防宣言！」の事業報告が報告された。

9. 事務局報告について

(湯元専務理事)

4月の事務局報告がなされた。

10. スポーツ理学療法の全国展開・推進運営部会の事業報告

(吉井副会長)

スポーツ理学療法の全国展開・推進運営部会において、2021年～2022年度に実施した事業とその成果のまとめが報告された。

11. 2022年度認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関に関する実績報告について

(白石常務理事)

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関について、2022年度から制度を開始し、運用初年度が終了したため、各種実績を報告がなされた。

12. 「認定理学療法士認定試験に関する業務委託」入札結果について

(白石常務理事)

「認定理学療法士認定試験に関する業務委託」入札結果について報告がなされた。

入札方法：指名競争入札

事業者決定までのスケジュール：

- ・ 公示日：2023年2月27日（月）
- ・ 応札希望締切日：2023年3月13日（月）12時00分まで
- ・ 入札書類提出日時：2023年4月13日（木）12時00分まで
- ・ 業者決定（通知）：2023年4月19日（水）

入札会議：2023年4月18日（火）

応札事業者：2社

事業者の決定方法：

入札価格、実績一覧による総合評価方式

落札事業者：株式会社テストイベント企画

落札金額：8,600,000円（税込）

13. 2022年度認定・専門理学療法士（更新）申請と旧制度での暫定認定・専門理学療法士取得者（2018年度入会者）について

(白石常務理事)

2022年度認定・専門理学療法士（更新）申請と旧制度での暫定認定・専門理学療法士取得者（2018年度入会者）について報告がなされた。

【更新】

2022年度更新対象者（有効期限：2024年3月31日）：2,155名

更新完了：584名（延べ人数で642名）

※新制度初回更新においては2年間の更新猶予があるため、失効者なし。

【新規】2022年度は新規申請受付無しのため、暫定が取れた方のみ。

2018年度入会暫定認定・専門理学療法士取得者数：427名（延べ446名）

2023年4月1日付け認定理学療法士取得者：393名（延べ411名）

専門理学療法士取得者：1名



14. 1億円プロジェクトの進捗について

(森本常務理事)

1億円プロジェクトの進捗について報告がなされた。

本事業は2022年度で終了の予定であったが、1件の研究について、対象患者を増やすことで研究成果が見込めると判断され、2023年10月まで研究を継続し最終報告をいただくことになった。

対象研究名：

心リハメソッドを基盤に、ICTを活用した地域包括ケアシステムにおける遠隔理学療法プログラムのクラスターRCTによる有用性の検証

- ・現状までの1億円プロジェクトの概要を表にまとめ報告する。
- ・研究報告レポートを作成してHPに掲載予定である。
- ・上記研究終了後、成果報告会を開催予定である。

15. 障がい者スポーツ普及促進運営部会の事業報告

(清宮常務理事)

障がい者スポーツ普及促進運営部会において、2年間の活動を振り返り、それぞれ実施した事業の成果等を取りまとめ報告された。

16. 発達障がい児に関する国民向けパンフレット発行、及び理学療法介入効果に関する文献資料の公開について

(清宮常務理事)

障がい児（発達障がい児）対策運営部会にて、発達障がい児に関する国民向けパンフレット「乳幼児から青年期の制度にもとづく発達障がいに向けたサービスのご紹介」を発行し、同時に発達障害に対する理学療法介入効果に関する文献資料を公開したことを報告された。

<掲載場所>

パンフレット：WEB公開、本会ホームページの国民向けサイト

文献資料：WEB公開、本会ホームページの会員限定コンテンツ

17. 2022年度日本理学療法士教員協議会 報告書

(斉藤会長)

一般社団法人全国大学理学療法学会が主催する2022年度日本理学療法士教員協議会の報告書について報告がなされた。

18. 常任理事会 会議報告

(湯元専務理事)

常任理事会を開催したので、添付の通り報告する。

2022年12月6日開催常任理事会 議題

- ・世界理学療法連盟 2023 総会の案内及び動議の提出について
- ・一般社団法人全国リハビリテーション学校協会令和4年度第2回理事会における言語聴覚士学校養成所カリキュラム等改善検討会の経過報告について
- ・他団体の研究助成に対する本会からの推薦実施報告について
- ・WPT2025 学会に関する世界理学療法連盟との打ち合わせについて

2022年12月13日開催常任理事会 議題

- ・日本学会会議 会員・連携会員の選考対象者に関する協力学術研究団体である本会からの情報提供について
- ・中央労働災害防止協会正会員（4号会員）への登録について
- ・世界理学療法連盟会長及び副会長選挙について
- ・第4回 日 ASEAN スマートシティネットワークハイレベル会合の参加報告

2022年12月20日開催常任理事会 議題

- ・一般社団法人日本集中治療医学会認定「集中治療〇〇理学療法士制度」について
- ・世界理学療法連盟 (World Physiotherapy) のポリシーステートメント Part2、Part3 及び用語に関するアンケートについて
- ・運動器の健康・日本協会との事業について
- ・60周年記念誌企画案及び今後の進行について

2023年1月24日開催常任理事会 議題

- ・世界理学療法連盟理事選挙及び AWP 執行委員会選挙について

2023年1月31日開催常任理事会 議題

- ・世界理学療法連盟リーダーシッププログラム 2023 について
- ・運動器の健康・日本協会からの文科省関連への要望について

2023年2月7日開催常任理事会 議題

- ・1億円プロジェクト事業における再々延長申請に対する意見交換
- ・世界理学療法連盟地区理事選挙について
- ・理学療法白書 2022 年度版の発行について

2023年2月14日開催常任理事会 議題

- ・臨床実習指導者講習会の世話人要件について

2023年2月21日開催常任理事会 議題

- ・モデルコア・カリキュラムの文部科学省との打ち合わせについて
- ・指定規則の改定の進め方について

2023年2月28日開催常任理事会 議題

- ・国際事業の次の具体的展開について（60周年記念事業の一つとして）
- ・世界理学療法連盟 アジア西太平洋地区(World Physiotherapy - AWP)の総会における動議提出について
- ・新組織体制にかかる検討について
- ・2年間の事業実績等を顧み、副会長、専務理事の定員改正とそれに伴う定款改正および規則等の強化、理学療法士の職業倫理ガイドラインの修正について

2023年3月7日開催常任理事会 議題

- ・2年間の事業実績等を顧み、規則等の強化、理学療法士の職業倫理ガイドラインの修正について
- ・組織運営協議会〔拡大〕の開催について
- ・2023事業計画・予算案の確定理事会について
- ・世界理学療法連盟 アジア西太平洋地区(World Physiotherapy - AWP)の執行委員会関連の会議報告

2023年3月14日開催常任理事会 議題

- ・理学療法士養成校の卒業生に対する2022年度学業優秀賞受賞者の承認について
- ・世界理学療法連盟 AWP 地区執行委員選挙立候補について

2023年3月28日開催常任理事会 議題

- ・令和5・6年度チーム医療推進協議会 役員立候補について
- ・理学療法白書の発行について

以上